



27 回目を迎える創造的ダンスの祭典 「ヨコハマダンスコレクション」

コンペティション受賞振付家決定！

世界的な振付コンクールの日本プラットフォームとして1996年にはじまったコンペティションは社会と他者に向き合い、身体と表現に向き合う振付家 500 組以上がファイナリストとして参加し、いま現在も国内外で多彩な活動を繰り広げています。

このコンペティションは、振付家やダンサー等が構成、演出、技術のみならず新たな表現の可能性に挑む場であり、創造性に基づく対話・交流のプラットフォームです。

今回は2021年4月26日(月)から6月28日(月)まで公募を行い、15の国・地域から計116組の応募がありました。映像・書類審査会を経て決定した22組(コンペティションⅠ:10組、コンペティションⅡ:12名)が、12月4日(土)～12日(日)の上演審査にのぞみ、以下の通り各賞の受賞者を決定いたしました。

【コンペティションⅠ】

■審査員賞

中川絢音<水中めがね∞> 『my choice, my body,』

■若手振付家のための在日フランス大使館賞

中川絢音<水中めがね∞> 『my choice, my body,』

■アーキタンツ・アーティスト・サポート賞

中川絢音 『my choice, my body,』

Wang Yeu-Kwn 『Beings』

■奨励賞

入手杏奈/香取直登 『WHAT'S YOUR NAME?』

中屋敷 南 『みえないけどいる -touch the ghost skin-』

Wang Yeu-Kwn 『Beings』

■ベストダンサー賞

大森瑤子 『Help』

【コンペティションⅡ 新人振付家部門】

■最優秀新人賞

浅川奏瑛 『0 ku』

■アーキタンツ・アーティスト・サポート賞

浅川奏瑛 『0 ku』

■奨励賞

橋本真那 『パトリオティズム』

■ベストダンサー賞

伊藤 奨 『路路、 -ロジ-』

【コンペティションⅠ 審査員】

岡見さえ（舞踊評論家、共立女子大学文芸学部准教授）

北村明子（振付家、ダンサー、信州大学人文学部教授）

近藤良平（コンドルズ主宰・振付家・ダンサー）

多田淳之介（演出家、東京デスロック主宰）

浜野文雄（新書館「ダンスマガジン」編集委員）

サンソン・シルヴァン（在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本文化担当官）

シモン・ホレンベルジェ（アンスティチュ・フランセ横浜 館長）

クリストフ・シュッセ（フランス国立ダンスセンター事務局長）

【コンペティションⅡ 審査員】

ヴィヴィアン佐藤（美術家）

加藤弓奈（急な坂スタジオ ディレクター）

北尾 亘（Baobab 主宰・振付家・ダンサー）

浜野文雄（新書館「ダンスマガジン」編集委員）